

平成17年1月
第3号

愛媛県武道館だより

発行 愛媛県武道館

〒790-0948 松山市市坪西町551番地
TEL 089-965-3111

新年あいさつ



愛媛県武道館長

秋川 秀美

あけましておめでとうございます。

平成17年の新春を迎え、皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

旧年中は、愛媛県武道館の利・活用につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成15年10月にオープンしました当武道館は、関係者をはじめ多くの方々のご支援・ご協力により、お蔭で順調なスタートを切る事ができました。

この1年3か月を振り返ってみますと、当武道館の柿落として平成15年12月の外国六チーム、全日本選抜・愛媛選抜チームによる「愛媛国際親善女子柔道大会」をはじめ、「中国四国地区銃剣道選手権大会」、「少林寺拳法四国大会」、「全国学生なぎなた選手権大会」、「四国空手道選手権大会」、「全日本東西対抗剣道大会」、「少年武道大会」などの各種武道大会や小・中学生、高校生、一般の方々の各種室内スポーツ大会、「ドラゴン・アッシュ」、「ゆず」、「ディズニー・オン・アイス」など音楽、文化関係の大規模イベント、更には、広く県民の方々を対象に年間、前期・後期開催の「スポーツ・レクリエーション教室」などたくさんの方々のご参加により、多彩なスポーツ・文化活動・イベントが展開されました。

これら大会・イベント等の開催にご尽力いただいた方々に、改めて厚くお礼を申し上げます。本年も、引き続き各種大会、イベントなどの利用促進のため一層のご協力をお願い申し上げます。

当館オープンと同時に就任いただいている山下泰裕名誉館長から、常々、指導、助言いただいておりますように、「武道やスポーツを通じて明るく活力ある社会づくり、青少年の健全育成を推進することが重要です」を武道館職員一同、常に心がけ、今後ともご利用いただく方々のご要望や建設的なご意見を頂きながら、県民お一人お一人に愛され、親しまれる元氣創造の拠点施設として、武道館の充実に一層努めて参る所存です。

どうか皆様方により一層温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本年が、皆様にとりましても、最良の年でありますよう心からお祈り申し上げます。そして、新年のごあいさつといたします。

愛媛県柔道協会

(財)愛媛県柔道協会
強化育成委員会 松木園 佳澄

平素は、柔道競技の大会運営並びに諸活動に對しまして、絶大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、念願であった愛媛県武道館が、国内外に真に「日本一」を自慢できる施設として、平成15年10月に完成しました。当協会も、この施設に恥じない様な競技力向上を目指し一丸となつて取り組んでいますので、その一端をご紹介します。

強化育成委員会組織の内、小学生競技について簡単に紹介いたします。ご承知のとおり、その基盤は各町道場に始まり、幼児から成年まで規模も様々です。特に主大会の県少年大会は、選手数約1000名にも及び、幼児番組試合、団体戦、個人戦と、8面の会場に熱気ある声援が飛び交う熱戦が繰り広げられます。その他、地区大会、各所属団体が運営する大会を含め、年

間20大会以上にも及びます。県でも、愛媛団体の長期ビジョンの中、小学生をその底辺とする一貫した組織下に配慮した人事となっております。歴史は学校教育に武道を正科授業としていた時代もありましたが、入門のきっかけが町道場の類が大半であり、主体性・影響力も大といえます。全柔連指導下、強化育成体制を小学部にも拡大、整備も進められ、今夏全国5・6年生体重別個人戦初開催で、県下選手が優勝するなど、団体においても常時入賞経歴の点で愛媛県のレベルアップを内外に示しています。各地区ブロック、四国内の強化選手指定合宿、県レベル交流強化も活発となっております。

先般開催されました県女子柔道選手権に、小学生体重別を初導入した反響も大であり、全てにおいて成年同様、小学部競技力も全国的に整備拡充が図られてきていることは、県協会も今後期待が広がり、力を注いでいきたい最重要課題としております。

今後とも、ご指導よろしくお願いたします。



今こそ剣道の極意

愛媛県剣道連盟

企画広報部長 馬越 洋治

混迷する21世紀初頭、争いの続く社会情勢、

先の見えない環境の変化、ひしめき合う危機感の中で、現代社会が求めているものは何なのか。打つ手はないのだろうか。今こそ、正しい決断と勇気を持って立ち向かう度胸が必要なのではないだろうか。

まさにその度胸は、剣の妙技でもありません。

剣道の妙技は間合いと駆け引きにあるのです。「機をみて敏なり」の先人の教えにあるように、正しい決断をいつ、どこで炸裂させるかというところにあります。

では、この妙技はいかにして生まれるものなのでしょうか。どんなにすごい選手でも、初めは竹刀の持ち方からスタートしているはずです。おそらく、直感とひらめきなどの能力はある一定のレベルまでは、みな同じなのです。

ところが、超一流と言われる選手には何かプラスがあるのです。それは、努力と度胸の差ではないでしょうか。日々、新しい何かを研究し、加えて謙虚に先人の意見を受け止め、稽古を怠らない、そういうことではないでしょうか。

愛媛県剣道連盟では、この混迷した現代社会を武士道の精神で活気あるものにしたと、年頭に誓いたいと思います。剣道でしっかりとした精神力を培った子供達が、必ずや社会の中心となって活躍していることを信じて、連盟のスローガ



ンでもある「剣道は昔も今もこれからも」を旗印として、真剣の汗を流したいと思えます。

会派(流派)を超えた合同練習の成果

愛媛県空手道連盟

常任理事 伊藤 忠徳

愛媛県武道館2階副道場において、月・土曜日を除く週5日、松山近隣の指導者を中心に、各曜日を担当し、合同練習を開始して1年が過ぎました。今回掲載した写真は、たまたま水曜日の練習後集合写真ですが、ご覧のとおり幼児から大人まで幅広い年齢層の集まりであり、中予地域5流派【糸東・糸州・修道・協会・賢友】の子供達です。

通常は、この子供達のほかに、松山工業高校の空手部員が加わり、八塚先生の下、熱気に満ちた練習を行っており、ほんの1年ではありますが、中予地域の少年・少女の実力は上り調子にあるものと思われる。

これは、今までのように、「自分の流派だけ」、「自分の道場だけ」と言う、固定した観念を取り払い、地域ぐるみで武道の振興、また、空手道の普及をして行こうと言う、各指導者の熱意



が、その成果を生んでいるものと確信しています。

また、この武道館での合同練習を核とした地域ぐるみの指導方針が、きつと、13年後の愛媛国体に向けての技術の向上に、弾みになればと思っています。

さらに、中学校・高等学校における、空手道の普及と空手道部の設立等が、スポーツ行政並びに教育関係者の温かい理解の基で着々と進行し、国体開催に向けての追い風になりますよう祈念する次第です。

最後に、武道館での合同練習を企画・実行されました、県空連事務局長 篠崎剛先生の先進的な行動に敬意を評し、今回の報告を終わります。

年頭にあたって

愛媛県少林寺拳法連盟

常任理事 小野 芳洪

新年あけましておめでとございます。平成になって16回目のお正月を迎えたのですが、「平成」の言葉とは裏腹に年々混沌となる時の流れでした。

世界は言うに及ばず、国内においては取り分け人心の乱れ著しく、テレビをつけても、新聞を開いても連日政界、官界、教育界から企業(一流企業まで)等あらゆる層の不祥事が相次ぎ、トップが首を揃えて謝罪する姿を見るにつけ、また巷では他人の生命、財産に対する余にも軽薄な態度の犯罪、有ろうことか親子、兄弟への常識を超えた仕打ちを見るにつけ、今の日本に何が起きているのか...と暗澹たる気持ちにさせられます。少林寺拳法の開祖宗道臣は先の大戦の

中国に於いて、終戦への道を辿る中、ソ連軍、日本軍、日本中国の民間人の、事態に対処する姿を見て「人、人、人、すべては人の質にある」と喝破された。そして、戦後の明日の展望も希望も見出せない日本で、荒廃した心の青少年を見、これではいけないと知恵と勇気と行動力の伴った分別のあるリーダーシップの求められる若者の育成に情熱を注いで来られました。少林寺拳法の修業の原点はここにありませぬ。

年間収益が一兆円を超えた「世界のトヨタ」の根底に脈々と流れているのは、豊田佐吉以来の「社会還元」です。「我々の会社は社会に如何に貢献できるのか!」成功している企業のほとんどにこの「社会貢献」への理念と情熱があります。

そして、その実践はシンプルで、小さい事の積み重ねを通して「相手のことを思いやる」心の質を高める事にあります。

今の日本に求められているのは、人の素養であり、人としての質の高さです。少林寺拳法は、今年も道場の修業を通して、この人の質を高める教え「自己確立」と「自他共栄」を実践できるようお互いが楽しく、明るく邁進します。よろしくお願ひします。

“新しいスタートの年”

愛媛県なぎなた連盟

理事長 木野 昭美

『あけまして、おめでとございます。』新しい年を迎え、皆様もつつがなくお過ごしのことと存じます。

さて、私たちのなぎなた連盟も先輩先生方のたゆまないご努力により50年の歴

史が刻まれました。この新しい年は51年目となり、新たな歴史への第一歩を踏み出すこととなりました。

高校生よりの活動で維持しております本連盟の活躍にも、近年の少子化現象が影響を表しつつあります。何かと高校在職の先生方のご努力により、部員数が先年より増加している学校もあり、心強く感じております。中学生につきましては、今治東校の創部があり、三団体の参加する大会開催となり、将来に対する期待を持たせてくれるようになりました。また、幼児や小学生につきましても、なぎなたの理念をご理解いただきまして、子供達の人格形成への期待も含め、ご家族のご支援をいただき、少しずつではありますが増加の傾向となり、希望を持たせてくれるようになってきました。

武道館の開館を機に立ち上げました「武道館なぎなた教室」も、午前・夜間と10名〜20名の初心者、経験者を含む愛好者が継続して楽しみながらなぎなたの修練に努めています。

一方、大学生につきましては、東雲大学の復活、聖カタリナ大学の男女共学など明るい材料が見られるようになりました。特に、聖力大・愛媛大では男女部員が増加し、男女でのお稽古に励んでいます。松山大学では、県外の有望選手を確保し、前年は学生日本一や国体選手4名など本連盟の発展に大いに寄与しています。一般の部においては、池見選手の全国制覇をはじめ、三浦工業(株)なぎなた部員の活躍など、県なぎなた連盟の柱となつて貢献していただいております。

幼児から一般・ご家族までの多くの皆様に支えられ、当連盟は一步ずつ前進しています。

新しい年を迎えましたこの年は、これからの皆様とともに会長を支え、役員・指導者が一丸となって、試合・合宿・講習などに尽力し、なぎなたを通して世の中に役立つ人材を育成したいと思っております。競技面でも、国体・全日本や都道府県対抗で愛媛の伝統をさらに高めて参りたいと思っております。

現在の銃剣道

愛媛県銃剣道連盟
事務局長 竹下利一

銃剣道は剣道が竹刀をもって行うように木銃をもって、勝負を争う極めて槍術や剣道に似た純日本式の武道であり、言いかえれば木銃による槍術とも言えるもので、年齢、性別、場所の如何に拘らず誰でもが実施できるスポーツであります。

その主体性を日本古来の槍術におき、その秘訣を余すところなく取り入れ槍術や剣道の理論等を合せ、研究を重ね、日本人の性格、体格等に最も適合した武道として集大成されたものであります。

一口に銃剣道と申しますと高年齢層の方々には戦技という過去のイメージのみ拘わがちですが、それらの銃剣道は昔日のものであり、現在の銃剣道は全く戦技的内容を払拭して、現代社会人の人間形成を主眼とし、一般大衆に最も相応しい、しかも子供達にも容易にできるスポーツとして発足したものであります。また、日本体育協会からは銃剣道が国民体育として相応しいスポーツとしての適正が認められ、正式種目に公認され、昭和55年、第35回(栃木)国体から秋季正

式種目として初参加し、今日に至っております。従って、国民体育大会参加の公式種目として広く国民にその本質の理解を求め、ひいては国民体育としての実践を願い、地域スポーツの発展と銃剣道修業の指標に示す目的達成を念願するものであります。

何卒、その趣旨を了とせられ、現在の銃剣道をご理解願ひ、格別のご指導、ご協力をお願いする次第であります。

銃剣道修業の指標

銃剣道の修業は、たゆまない努力によって心身を鍛錬陶冶し、規律を守り、礼儀を尊び信義を重んずる等、社会人として必要な道徳性を高め、もつて、

正しく、明るく、
強く、逞しい

人間形成を目指して精進するものである。

社団法人 全日本銃剣道連盟

「若者に夢を、壮年に若さを、稽古は根気よく」

愛媛県合気道連盟

会長 松森國彦

社会人になってから始めた私の合気道は、合気道歴40年となりました。愛媛県で合気道が稽古されるようになってから約40年が経ちました。愛媛県合気道連盟は、本年7月に発足し、現在、26団体で組織され、会員数は約500人となりました。

「合気道とは」
合気道は相手といたずらに力で争いま

せん。入身と転換の体さばきから生まれる技は、相手の暴力のみを制するもので相手の生命を殺傷致しません。人間生命の尊重がうたわれる現代に相応しい武道と言えるでしょう。合気道が「和」の武道と言われる所以もここにあります。

「合気道の稽古の特色」

合気道は競技を行いません。お互いの習熟度に合わせて技をくり返し稽古することで心身の錬成を図ることを目的としていますので誰でも稽古を行うことができます。稽古の積み重ねが健康に良いのは言うまでもなく、日常の生活において何事にも積極的に取り組む自信が自然と培われます。

また道場には年令、性別、職業、国籍を問わず多くの人々が集まってきました稽古することは、人間理解の目を深めるためには最適です。合気道の稽古に終わりはありません。稽古を始めたら根気よく続けることです。うまずたゆまず求めることです。稽古を続けることが進歩への第一歩であり稽古の大切な一面でもあるのです。

以上のことは、合気道に限らずどのような武道にも言えることです。

現代の多くの若者は、私たちの世代と比較すると、我慢をすることがとても苦手です。

しかし、毎日のように私たちが一緒に稽古する若者は決してそうではありません。

地道な努力が知らず知らずのうちに、種々の能力を力強いものに変え、十分に発揮するものとなることを教えたり、若者が我慢する場、我慢しなければならぬ場をきちんと教えたり、用意しなかつた世代に責任があるのではと思うのです。

山下泰裕名誉館長が 武道少年達を激励

昨年11月25日(木)、山下名誉館長が、当武道館の各道場(主道場、柔道場、剣道場、副道場)で定期的に練習を行っている武道少年達を激励しました。

激励の傍ら、名誉館長は武道少年達に「相手を思いやる優しい心を持つことや礼を大切にすること」など武道の心構えを熱く語られ、武道少年達は真剣なまなざしで聞いていました。

また、名誉館長は今後も年1回は武道館に来て、皆さんとのふれあいを大切にしたいとの抱負も述べられました。



愛媛県武道館(主道場)で実施が予定されている大規模大会等 (1月~3月)

平成16年12月25日現在

競技	大会名	開催予定時期	備考(主催者等)
剣道	第35回近県少年剣道錬成大会	1月3日(月)	久枝剣道会
鏡開式	平成17年鏡開式	1月9日(日)	愛媛県武道館
剣道	第14回全国高等学校剣道選抜大会愛媛県予選	1月10日(月)	愛媛県高等学校体育連盟
剣道	第13回愛媛県小学5・6年生中学1年生剣道大会	1月16日(日)	愛媛県剣道連盟
卓球	第18回ひめライス杯南海放送レディース卓球大会	1月23日(日)	愛媛県卓球協会
バレーボール	全国高等学校選抜大会県予選(バレーボール)	1月29日(土)~30日(日)	愛媛県高等学校体育連盟
バスケットボール	日本リーグ	2月5日(土)~6日(日)	あいテレビ、バスケット協会
柔道	愛媛県柔道選手権兼中学生選抜大会	2月11日(金)	(財)愛媛県柔道協会
剣道	第5回四国高等学校新人剣道大会	2月13日(日)	愛媛県高等学校体育連盟
柔道	愛媛県柔道体重別大会兼小学生選抜大会	2月20日(日)	(財)愛媛県柔道協会
剣道	第1回全国招待愛媛県中学校剣道強化錬成会	2月26日(土)~27日(日)	愛媛県剣道連盟
柔道	四国4県対抗・四国柔道選手権大会	3月6日(日)	(財)愛媛県柔道協会
ソフトテニス	四国内室ソフトテニス団体対抗戦	3月13日(日)	愛媛県ソフトテニス協会
柔道	瀬戸内少年柔道大会	3月21日(月)	(財)愛媛県柔道協会
剣道	久米少年剣道大会	3月27日(日)	久米剣道会

大会日時等は今後変更の可能性があります。

【武道館からのお願い】

最近、当武道館で大変困っていることをお話しします。
武道大会等の大会当日は、残念ながら、他人の迷惑を顧みない、通路への駐車、二重駐車、ロータリーへの駐車など迷惑駐車が横行しております。
時間がないのか、邪魔くさいのか、その理由がなにであ

れ「礼」を基本とする武道館としては、このような状況を甚だ嘆かわしく思っているところでありますので、大会時等の駐車について皆様のご協力をお願いします。

今回は紙面をお借りしてお願い事をいたしました。これもひとえに、武道愛好者の方々当館を気持ちよくご利用していただくことを願ってのことであり、ご容赦願います。

スポーツ安全保険

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動などに最適な保険です。

スポーツ安全協会 愛媛県支部

愛媛県教育委員会保健スポーツ課内 TEL089-941-2111 (内線5396)

対象となる事故
☆グループ活動中の事故
☆往復中の事故

ワイドな補償で
みんなの元気を応援します!



5名以上の
団体で
ご加入ください。